

学校番号	学校名	校長名
31	川崎市立野川中学校	新山 英樹

学校教育目標	今年度の重点目標
<p>自己の将来を思考しながら 明るく 健康で 常に心の豊かさを育てつつ 知識を身につけ 勤労を尊び 自主的 創造的に 活動する 生徒の育成を目指す</p>	<p>① 授業改善とわかる・できる授業の実践・GIGAスクール構想の推進 支援教育の推進 ② 個々の生徒への丁寧なかかわりときめ細かな生徒指導の推進 生徒理解・教育相談活動の充実とよりよい人間関係づくりの推進 不登校生徒への組織的な取組の推進 ③ 健康・安全・防災教育の推進ならびに教育環境の整備 ④ 家庭・地域・関係諸機関との連携</p>

評価項目	具体的な取組	成果と課題	具体的な改善策
1 教育課程 学習指導 特別活動 支援教育	<ul style="list-style-type: none"> 評価規準を意識し、授業力向上を目指した研修授業 GIGAスクール構想をより進めるための取組 生徒たちの考えを生かし、自らが意欲的に行動する態度を尊重した学校行事の実践 学級活動の充実 生徒の状況に応じた支援策の実践や学習支援室の経営 GIGA端末を利用したオンライン学習の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の意欲を引き出す授業を意識して取り組んできましたが、生徒個々の差異に対して対応できる場面での工夫が物足りない課題を感じています。そのためには全体授業の中の個別支援を意識した授業構成の模索が必要でGIGA端末を取り入れながら来年度は取り組んでいきたいと考えてます。 リーダー研修会を開催し、リーダー育成に努めました。 各行事では、実行委員会を組織し、生徒中心の行事づくりを推進しました。 学級活動について、計画的に実践することができました。 教室に入ることが難しい生徒には、学習支援室を利用しながら登校を促すようにいたしました。 状況によっては、オンライン授業を実施し、学習の保障を行うことができました。 	<ul style="list-style-type: none"> GIGA端末を利用し、全体でコミュニケーションを取りながら関心を高める学習だけでなく個別に利用して個々の到達度に応じた学習を意識して取り組み、特に同教科内で情報交換を密にし、研鑽を高めながら実践できるように取り組んでいきたい。 リーダーを中心とした生徒会活動や実行委員会による学校行事をつくりを強く意識して実践していきたい。 引き続き、学習支援室を運用していきたいと考えるが、スペースの確保や指導者の確保が今後の課題になってくることが予想されるので教育委員会の支援を要望していきたい。 オンラインを利用した学習の保障を実践していきたい。
2 生徒指導 人権尊重・教育相談 不登校対応	<ul style="list-style-type: none"> 生徒個々の実情を鑑みた生徒指導の実践 穏やかに諭す姿勢を堅持した指導の実践 人権尊重の考えを徹底するためのプログラムの実施 生徒理解を推進するための教育相談の実践 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の事情を酌んだ穏やかな対応を実践することができました。 複数の教員で情報交換しながら連携を意識した対応をすることができました。 粘りずよく取り組んでいるがさまざまな事情により指導の効果が現れない生徒も少なからずいました。 オープンスクールの際に各学年で人権に関する授業を実践し、学年内は、統一した内容とし、各クラスで担任が授業し、その授業を保護者に参観していただき、人権教育の実践を広く伝えることができました。引き続きこの実践を継続していくことが大切と改めて感じました。 定期的な教育相談期間を設定し、生徒の心のケアを実践することができました。 	<ul style="list-style-type: none"> 教員間で情報を密にし、検討しながらその生徒に合った指導を模索していく必要がある。 生徒指導研修会で個々の生徒の対応を全教職員で認識していきたい。 来年度も人権に関する授業を全校で取り組むことを実践していきたい。 来年度も定期的な教育相談期間を設定し、特に長期の休み明けの生徒の心に寄り添えるように計画していきたい。

評価項目	具体的な取組	成果と課題	具体的な改善策
3 健康・安全教育 教育環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・常に感染予防を意識した環境整備の実践 ・交通安全教育の実践 ・学校設備の確認と修繕依頼の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校での日常生活で感染症を意識して生活するように声掛けや指導することが実践できました。 ・スケアード・ストレートを開催し、交通安全に関する学習を実践することができました。 ・校外で事故に遭う生徒もいたため、交通安全に関する指導は継続するべきと考えました。 ・教育環境整備推進室には、いろいろ修繕依頼を提出させていただいて、教育環境の改善に努めたが諸般の事情により実際に行われたものは一部となっていました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、養護教諭を中心に感染症予防の環境整備や教育を徹底していきたい。 ・所轄にも協力いただきながら、交通安全の指導を実施していきたい。 ・引き続き、必要な修繕について教職員から情報を寄せていただいて、生徒の安全・安心の確保、学校環境の快適化のために素早い対応を心がけていきたい。
4 保護者・地域社会・ 関係機関等との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者との綿密な連携の推進 ・地域のさまざまな機関との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA活動を通して、保護者の意向や思いを感じることができました。 ・学校教育推進会議、地域教育会議などを通して、地域との情報交換ができました。また、区の防災訓練の開催を通して、地域の防災事情への理解を深めることができました。 ・児相、地域支援課、警察、民生児童委員などの方々と連携をすることができました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、PTAとの意見交換や諸会議を通して意見を集約し、可能なものは実現していきたい。 ・コミュニティスクールを立ち上げ、新たな学校指針と捉え前向きに取り組んでいきたい。 ・子ども安全、安心のために引き続き、諸機関と連携をしていきたい。

学校関係者の評価	学校運営のまとめ
<p>学校教育推進会議の場で地域の方々から以前は、校外でいろいろな迷惑行為などがあったが最近耳にすることが少なくなっているとの情報をいただいた。また、代表生徒に対してどんなサポートをしてほしいか投げかけていただき、地域やPTAがどのように学校、生徒を支えていけるかを考える貴重な場となり、学校を支えていく前向きな地域、保護者であることを再認識した。</p>	<p>今年度も野川中の生徒が大切にしているものを教職員全体で見極め様々なことを実施してきました。その大切にしているものは、決して世間で広がっている考え方や国や自治体を中心に示している方向性など日頃の報道やネット等で見聞きするものでなく私たちが教職員が生徒に接し、一緒に考え、共に活動し、保護者の声にも耳を傾け、野川中を支えていただいている地域の方々の故郷に対する思いなどを総合的に加味して学校運営を行ってきました。そのセレクトのおかげで生徒の自主性が生まれ、指示通りでなく自分達で考え、行動し、仲間との関わりを深め、達成した時の感動をみんな味わう場面が生まれてきたのではないかと思います。その生徒の姿勢を教職員は大切に、学校行事、学年行事、キャリア教育、GIGA端末を使った学習、部活動など学校の教育活動のいたるところで実践してきました。人間一人一人の可能性を見くびることなくその未来を大事にした1年間でありました。</p>